六月定例会の主な内容

第五回（六月）定例会は、六月六日に招集され、六月二十四日までの十九日間にわたり開催しました。
この議会では、平成二十年度補正予算議案等二十八件と議員提出議案五件を審議し、いずれも原案のとおり議決しました。
また、十二人の議員によって一般質問が行われ、自動二輪車用駐車場、放課後児童クラブ、小中学校・保育所の耐震化、向山採石事業などについて論議が交わされました。
この議会の主な内容を紹介します。

一般質問

自動二輪車用駐車場の確保は

問　駐車場法が改正され、自動二輪車も駐車場整備の対象となったが、本市において、自動二輪車用駐車場を確保する考えは。

答　本市では、駐車場法に基づき、届け出のあった市内の駐車場管理者に対し、自動二輪車の受け入れ状況を調査した。その結果、ＪＲ沼津駅周辺の駐車場では、自動車の駐車スペースに自動車と同じ金額で受け入れている駐車場が二カ所あるのみで、自動二輪車専用の駐車スペースを設けている駐車場はなかった。このことから、今後の自動二輪車の駐車需要や違法駐車の動向を注視しながら、市営駐車場へ新たに自動二輪車用の駐車スペースを整備するための検討を行うとともに、民間駐車場に対しても、自動二輪車の受け入れについて協力を求めていきたいと考えている。

国際化時代の観光施策は

問　富士山静岡空港の開港により、外国人観光客の増加が見込まれるが、このような国際化時代に対応した観光施策は。

答　富士山静岡空港の開港は、本市にとって国内外からの交流人口増大の好機であると認識している。現在、本市では、国際化時代に対応する観光都市・沼津の実現に向け、英語、中国語、韓国語の三カ国語による観光パンフレットの作成などに取り組んでいる。今後は、ホームページ上に外国語表記を加えるなど、外国人観光客に対する受け入れ体制を整えていきたいと考えている。

ロボカップジャパンオープン2008沼津の成果は

問　ロボット技術の育成などを目的とした大会であるロボカップジャパンオープンが本市で開催されたことは、科学技術やものづくりの重要性を市民に伝えていく意味において、大変価値あるものであったと考えるが、本事業における成果は。

答　平成十九年十一月に本市で開催した技能五輪国際大会に続くものづくりの啓発事業として、本年五月三日から五日にかけて開催したロボカップジャパンオープン2008沼津は、国内を初め、ドイツ、韓国、中国、イランなど、海外からも選手が参加し、大会史上最大規模を誇るチーム数と参加者を数える大会となった。また、多くの市民や企業の協力を得て開催することができ、市内小中学生を中心に三日間で三万二千五百人もの来場者があり、ものづくりの感動をともにすることができた。さらに、福祉・介護ロボティクス展やものづくり工作教室を同時開催したことにより、子供たちを初め、多くの来場者等にものづくりに対する関心を呼び起こし、大会のグレードアップにつながったものと考えている。

▲多くの来場者が詰めかけたロボカップジャパンオープン2008沼津（キラメッセぬまづ）